



News Letter

倉吉農業高等学校（倉吉市）

2022年

12月

中国四国農政局
鳥取県拠点

“あなたの未来に種を蒔く” 鳥取を耕す理由(わけ)を教えるin倉農

中国四国農政局鳥取県拠点は、鳥取県立倉吉農業高等学校と共催し、同校生徒へ農業の理解の深化と就農のきっかけづくりを目的としたイベントを開催しました。

イベントでは、鳥取県内の農畜産業に携わる4名の講師が自己紹介を行った後、生徒に直接、鳥取県農業の魅力や職業として農業を選んだ理由、農業の厳しさなどを伝えました。生徒は、「農業高校で取得しておいた方がよい資格は?」「カッコイイ農業とは具体的にどんなことですか」など、それぞれグループの講師に対し、高校生らしい直球の質問を投げかけていました。

対して、各講師からは、人間関係の大切さ、人とのつながりが一番大切で、そこから新たな販路に繋がっていくこと(逢坂 氏)。生き物と関わることは、常に生と死に直面していること、高校時代に取得できる資格は頑張っておくと、進学、就職のいずれにしても自分のためになること(吉田 氏)。あきらめず、何事にもチャレンジしてほしい、農業高校は宝の宝庫、学生時代にいろいろな人と関わって仲間づくりを(池田 氏)。スマート農業や農業機械の大型化で生産性の向上に取り組むことが大切、アイデア次第でビジネスの可能性や効率性は無限に広がる(田中 氏)。など、時には経営者として、時には親のような目線で優しく生徒に語りかける姿もありました。



池田 幸恵 氏



田中 里志 氏

意見交換の後には、生徒がグループごとに「自分が見つけた鳥取を耕す理由(わけ)」について発表しました。

参加した生徒からは、「良いものを作るだけではなく、消費者との信頼関係が大切なことが理解できた」「こんな楽しいイベントは初めてで、新たなつながりが出来て良かった」など、嬉しい感想も聞かれました。

また、生徒へは、食と農のつながりを大切にする取組「ニッポンフードシフト」や環境に配慮した農業生産、持続可能な農業による食料システムを構築する「みどりの食料システム戦略」について、その重要性を伝え、これからの農業を考える良いきっかけづくりとなりました。

竹内善一校長からは、「コロナ禍により郊外活動などが制限される中で、鳥取県拠点と連携したこのイベントが実現し、生徒が将来のビジョンを深めるよい機会となった」とのコメントをいただきました。

“鳥取を耕す理由(わけ)は生徒みんなの心の中に。”

今後も、中国四国農政局鳥取県拠点では、鳥取県内で学ぶ農業高校生の可能性を広げる活動を継続していきます。



逢坂 崇 氏



吉田 裕美 氏

トピックス

鳥取県の県魚、いくついえるかな？

皆さんは、鳥取県を代表する魚と聞かれると、どんな魚を思い浮かべますか？

今の季節であれば松葉ガニ、最近では夏のクロマグロも入るのではないのでしょうか。

実は他にも、全部で20種の魚が令和4年7月18日の海の日には鳥取県の「四季の県魚」として制定されました。

この制定には令和4年6月に、県内の量販店及び仲買業者等の販売担当者等から県民にお勧めしたい魚介類を季節ごとに選定するアンケートを実施し、その結果を基に「四季の県魚」が選定されました。

これまで鳥取県の県魚であったヒラメはなくなったかということ、「名誉県魚」として別格扱いとなりました。

鳥取県は四季折々に様々な魚介類が楽しめます。ヒラメに松葉ガニ、クロマグロ以外にもおいしい海の幸が満載です。四季の県魚を味わってはいかがでしょうか。

鳥取県の県魚

名誉県魚 ヒラメ

春
夏
秋
冬

ハタハタ、もさえび、サーモン、マグイ、ホタルイカ、ワカメ

白いか、クロマグロ、岩がき、あご（とびうお）、マアジ

ハタハタ、ノドグロ、ベニズワイガニ、甘えび、サワラ

松葉がに、親がに、カレイ、ブリ（はまら）、マダラ



↑冬の味覚の王様松葉がに

↑ヒラメは何匹いるでしょう？

飼育に特別な許可が必要な
ベニズワイガニの雌→



撮影協力：鳥取県立とっとり賀露かっこ館

<http://kanikko.jp/>

インフォメーション

統計調査へのご協力に対し感謝状を贈呈しました

農林水産省は、毎年10月18日に「統計の日」の記念行事として、統計調査に永年ご協力いただいた調査客体や極めて優秀な調査員へ感謝状の授与を行っています。

今年度、鳥取県では、農林水産大臣感謝状を8名、中国四国農政局長感謝状を14名の方に伝達しました。



10年間、農業経営統計調査にご協力いただいている、高見氏(左)、山崎氏(右)。

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 鳥取県拠点

〒680-0845 鳥取県鳥取市富安2丁目89番地4 鳥取第1地方合同庁舎

TEL (0857)22-3131(内線662) FAX(0857)27-9672 <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>